

令和3年度国債発行予定額

＜発行根拠法別発行額＞

(単位：億円)

区 分	当初 (a)	補正後	
		(b)	(b)-(a)
新規国債	435,970	656,550	220,580
建設国債	63,410	91,680	28,270
特例国債	372,560	564,870	192,310
復興債	2,183	400	▲ 1,783
財投債	450,000	150,000	▲ 300,000
借換債	1,471,929	1,436,633	▲ 35,296
うち復興債分	28,710	27,375	▲ 1,335
国債発行総額	2,360,082	2,243,583	▲ 116,499

＜消化方式別発行額＞

(単位：億円)

区 分	当初 (a)	補正後	
		(b)	(b)-(a)
カレンダーベース 市中発行額	2,214,000	2,122,000	▲ 92,000
第Ⅱ非価格 競争入札等	82,300	70,319	▲ 11,981
年度間調整分	782	859	77
市中発行分 計	2,297,082	2,193,178	▲ 103,904
個人向け販売分	41,000	28,405	▲ 12,595
公的部門(日銀乗換)	22,000	22,000	—
合 計	2,360,082	2,243,583	▲ 116,499

※1 令和3年度の市中からの買入消却については、市場の状況や市場参加者との意見交換も踏まえ、必要に応じて実施する。

※2 令和3年度における前倒債の発行限度額は20兆円。

(注1) 各計数ごとに四捨五入したため、計において符合しない場合がある。

(注2) カレンダーベース市中発行額とは、あらかじめ額を定めた入札により定期的に発行する国債の4月から翌年3月までの発行予定額(額面)の総額をいう。

(注3) 第Ⅱ非価格競争入札とは、価格競争入札における加重平均価格等を発行価格とする、価格競争入札等の結果公表後に実施される国債市場特別参加者向けの入札をいう(価格競争入札等における各国債市場特別参加者の落札額の10%を上限)。令和3年度当初の第Ⅱ非価格競争入札に係る発行予定額については、当該入札を実施する国債(40年債、30年債、20年債、10年債、5年債及び2年債)のカレンダーベース市中発行額の5.5%を計上している(令和3年度補正後は実績を反映した上で計上)。

第Ⅱ非価格競争入札等として、第Ⅱ非価格競争入札に係る発行予定額のほか、カレンダーベース市中発行額と実際の発行収入金との差額の見込みを計上している。

(注4) 年度間調整分とは、前倒債の発行や出納整理期間発行を通じた、前年度及び後年度との調整分をいう。